

もりおか mirai おでかけミーティング実施報告書

開催日時	平成 30 年 11 月 21 日（水）午後 2 時～午後 4 時			
開催場所	盛岡大学 岩姫ラウンジ			
出席者	兼平孝信	田山俊悦	櫻裕子	藤澤由蔵
	伊勢志穂	池野直友	竹花せい子	千葉伸行
	中村亨	豊村徹也	大畑正二	神部伸也
	菊田隆	高橋和夫	中村一	竹田浩久
	小林正信	伊達康子		
	盛岡大学学生 21 人			

【開催内容】

櫻裕子議員の司会進行により、兼平副議長の挨拶の後、ワールドカフェ方式による「あなたが地域で大活躍するために」をテーマに、下記の 3 項目を題目にして意見交換を行った。

- ① みなさんは普段どのような活動をしていますか。
- ② あなたの住むまちの人が幸せに暮らすためには何が必要ですか。
- ③ あなたがこれから地域で活躍し、地域が活性化するためにしたいこと、しなければならないと思うことは何ですか。

○意見交換の中で参加学生から出された意見（心に残った言葉）と感想

- ・農業の I T 化 → 後継者の育成，農業を盛り上げる
- ・普通に生活することが幸せ（家庭を持つ，仕事をする）
- ・「普通の暮らし」が一番の幸せ。
- ・各世代の不安を取り除くことが大切。
- ・地域をもっと知ること。
- ・何をするにも，お金が必要。
- ・幸せには，「愛」が必要だということ。あいさつや人間関係に「愛」があれば，全体として幸せになる。そうした人間関係の身近な所に町内会があるが，少子高齢化に伴い，人口減少しているので，スポーツの視点から総合型スポーツクラブを作るのもいいのかもしれない。その中で愛のある関係を築くことがいい。
- ・よりよい町づくりのために生活していく上で，地域で不安に思うことや，ここが危ないなど自分が感じたことを伝えることが大切。
- ・「幸せとは？」という疑問に対し，「食事」ができること，そのために「仕事」に就ける

ことという会話になった。そして、「普通の生活ができること」という答えにたどりついて、今現在普通の生活ができていて、改めて幸せだと感じた。

- どの活動にも、お金が必要であるという認識があったが、議員からNPOが必要であると聞き、活動など支援できる活動団体があると幸せであるということが印象的だった。
- 地域の交流の減少や、人が少なくなった欠点を逆手に活かし、総合型スポーツクラブをつくることでやらざるを得ないという空間をつくることは重要だと思った。
- 実は、自分がやりたい事が地域貢献につながっていたりしたので自分の特技を生かせることは積極的に取り組んでいきたい。
- L G B Tについて全く知識がなかったが、この問題も個人を生かすためにも大切な問題だと感じた。
- 自分が今回のワールドカフェで心に残ったこと・印象的だったのは、何をするにしても、最終的に行きつくところは金だったと思った。
- 日本全体の資金不足
- 今回のワールドカフェで一番心に残ったのはL G B Tについてだった。今までは心と体が一致している人のほうが当たり前だと思っていたが、左利きくらいの割合でL G B Tの人がいることがわかり、驚いた。
- 気付いたことは思った以上にお金を重視していること
- 普通のこと、当たり前のことができるということが一番の幸せなのかもしれない。お金も必要だけど、一歩間違えれば不幸になってしまう。
- 盛岡に21年住んでいるけど、市でどんなことをやっているのか知らなかった。もっと市に関心を持つべきだと思った。
- 20代で地域について考えるのは良いことであるが、まずは（私達が）社会に出てお金を稼がなければならない。その上で、結婚して家庭をもち、地域とのつながりについて考えていけるのが理想である。
- 年長者の話は真面目に聞きすぎない！幸せに暮らすために便利すぎないことも大事だと感じた。
- ネットショッピングや電子機器の進化により、人と話すことが少なくなってしまうこと、自然や地域の人との関わりを大事にするべきだということが心に残っています。
- 「人の声・子どもの声・音楽がきこえるまち」心に残ったこと、気付いたこと
- 新しい世代が、将来に自信を持てる教育・保育が展開されると良い。
- 伝統を引き継ぐ若い世代を活用し、生かしてほしい。
- 地域や伝統は続けていくべきではあるけど、伝統を伝統のまま変えず続けていくべきなのか。オリジナリティや独創性なども加えたものを受容し続けていくべきなのか。
- 保育職→低賃金、大変さが見合っていない
 - 関東などに職場を求め出していくと、人口減につながる
 - 職場、職探しが合っていない
- 高校になる年代から町内会への参加を拒否するようになる。世界を閉じるようになる。
- 「リスクがあるからこそ信じることに意味がある」 by 宇多田ヒカル
- 町内会の人とのつながり
- SNSでの人とのつながり→新たな形 どちらも大切

- ・ 幸せのためにはコミュニケーションが大切なのでは。
- ・ 周囲と関わりたくないように見える人も本当は関わりたいと思っているのではないか。参加したいが怖くて踏み出せないのではないか。
- ・ 母親が家で子育てしやすい社会
- ・ SNSで知り合っても面と向かったときのコミュニケーションが大切
- ・ けんかして分かり合うこともある
- ・ 伝統を伝統のままにするのか、新しくするのか
- ・ 職場のミスマッチにより関東へ行ってしまう。
- ・ 町内会→高校辺りから自分の世界に閉じこもる傾向がある。
- ・ 開けた社会
- ・ SNSを通じた繋がりであっても、実際のコミュニティが大事であると分かった。面と向かった状態での対話の方がコミュニケーションを取っている、という感覚を持てるが、最近ではSNS上でのコミュニケーションも深くなっている。SNSで知り合い、深い話をするまでに発展し、実際に会う、といったこともコミュニティに繋がるのだと改めて感じた。
- ・ 伝統を続ける
- ・ 町内会 →離れたとしても繋がりを保てるといい
- ・ 周囲の人とのすれ違い →関わり合うことで変わる
- ・ SNSは人間関係とは言えない！！→SNSだと薄すぎるから
- ・ 働くことは幸せに必要な
- ・ コミュニティ・コミュニケーション（地域規模、企業、職、人と人）話し合いが必要であり、普段の生活は人を幸せにすることであり、とても重要である。
- ・ 伝統と創作・伝統を守ることは大切だが、未来から見たら、今この瞬間も歴史の一部であり、その1ページを過去を守るためにつぶしてしまうのはもったいないと思った。完成された伝統というものはありません。その変遷も含めて伝統だと思うので、「伝統」がどうあるべきなのかを考えさせられた。また、それは、日本が世界に誇るものだと感じた。

○意見交換の中で参加議員から出された意見（心に残った言葉）と感想

- ・ 学生が盛岡市に就職して下さるといふ（あるいは盛岡で暮らしたいといふ）お話を聞いて、とても嬉しく思った。若者が暮らしやすい、楽しい盛岡にしていかななくてはとの思いが強くなった。（やはり東京に就職してしまう方も多いとのお話も参考になった。）
- ・ みんなが自分の地域に愛着があり、どうすればもっと良くなるか（幸せになるか）を考える機会になった。世代が違っても、率直に話す事ができた。自分が、何が出来るかまでは、考えつかなかった。
- ・ まじめな青年が多く居たことに安心した。
- ・ 「子どもの声の聞こえる暮らし」
- ・ 街の中で音楽が聞こえる
- ・ 子どもが外で自由にあそべる
- ・ 娯楽施設が欲しい（競馬再開）

- 水素エネルギー
- 学生らしく「地元（盛岡）で就職したい」「中学校の社会科の先生になって、自分がやっていた野球部の指導がしたい」「結婚したい！」との希望を聞くことができ安心した。
- これからは市議会に関心を持ってくれると話していて、大変嬉しく思った。
- 人間関係，人と人とのつながりが大切だということ。
- 大学生の未来が，今の考えとつながっているのか
- 悩みながら，自分を見つけられるといいなあ
- 地域や生まれ育ったところを大切に考えているグループだった。
- 今回のワールドカフェで一番心に残ったことは，学生達が，客観的に社会を見ることにたけていることに気付いたことである。やはり，学生というのは，「研究者」と同じ手ざわりがする。でも，その分，自分のことになると急にその視点が迷う様に見える。その辺が新しい発見だった。面白かった。盛大に感謝する。
- 幸せなことは地域の人達に見守られて，大切な家族がいて，おいしい物を食べられる事
- 少子化によってクラブ員数が減少する中，お互いが助け合うことによって総合型スポーツクラブが発展する気付きを与えてもらった。例）野球とスキー（夏と冬にできること）
- 地域において，できることから地域活動に参加する。若い考えを伝統に反映していく。
- 総合型スポーツクラブの創設
- 地域に合ったスポーツ交流
- 形式にとらわれない自由な発想の芸能・観光対策
- 普通である事の幸せ
- 地元での仕事の確保
- 幸せな暮らし＝「普通に暮らせること」
- 「普通」と言っても色々あると思うが，不自由なく暮らせるということが，一番幸せなのかもしれない。暮らしていけるだけの収入が得られる仕事，健康に生き続けられる取り組み，そして，地域コミュニティの中で安心して暮らせる社会になれば良いと思う。
- 子育てについて
保護者のニーズは「施設を増やしてほしい」「預かり時間を延長してほしい」
→しかし，子どもの立場に立った対応が必要ではないか。
※例えば，母親が子どもを育てる時間をもっと増やすにはどうしたら良いか。働く母親が子育て可能な待遇など（有給休暇の拡大，復職を容易にすることなど）
- 「職」→だれにでも，居場所と出番がある。
仕事をすることで得られること，お金，達成感（責任・使命）⇒心身の健康⇒幸せ
- 仕事をするのが幸せにつながる。
- 伝統と創作。心の健康。（マインドフルネス）
- コミュニケーションを高める。
- 地元で働きたい志向が強い。

- ・保育所に勤めたいが賃金の関係で諦めた。

○学生アンケート自由記載欄

- ・盛大さんさ見に来て下さい。
- ・とても楽しかったです。また参加したいです。
- ・普段聞くことのない議員さんのお話を聞いて、市の問題などについて深く関心を持つことができました。
- ・今まで自分が意見を言っても、どうせと思うことが多かったが、意見を話している間に自分でも見えなかった自分の意見を言えたことが嬉しかった。

○参加議員の所感

①参加しての所感

- ・明るい雰囲気の話が出来て、とても有意義なおでかけミーティングであった。
- ・短い時間だったが大学生と同じテーブルを囲んで話し合えたことは新鮮味があり、大変有意義だった。
- ・過去の議会報告会の形式よりは建設的で具体的な意見交換ができると思う。今後業界分野別にも「おでかけ」することがあると思うが今回のような形式が良いと思う。対面するとどうしてもお互いが構えてしまう傾向になる。
- ・テーブルごとの間隔を広くして会話を聞き取りやすくしたほうがよいのでは。

②意見交換の内容やテーマについての所感

- ・3つのテーマの設定は良かったと思う。
時間がそれぞれ15分というのが短かったと感じた。学生はちゃんと将来の仕事を見据えて学生生活を送っていると感じた。さんさ踊りに情熱を傾け、今後の財産としたいとの話もあった。
- ・学生が議員と初めて話す機会だったこともあり、日ごろの活動が聞けて良かった。

③意見交換の中で出された意見について

- ・子どもの声や街に音楽が流れている市が良いのでは。
- ・若者は地元を離れたくないと思っていない、地元には仕事場があれば住みたいと思う。
- ・可能であれば地元で生活したいという意見があり、雇用の場の確保が市政課題であると強く感じた。